

地域医療連携推進法人について

名 称 一般社団法人 釜石スクラムメディカルネット（令和 7 年 10 月設立）

参加者

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> （１）医療法人楽山会（せいてつ記念病院） （２）独立行政法人国立病院機構（釜石病院） （３）医療法人仁医会（財団）（釜石厚生病院、釜石のぞみ病院） （４）医療法人社団 K F C（釜石ファミリークリニック） （５）一般社団法人 釜石医師会 （６）釜石市 | <div style="font-size: 4em; line-height: 1;">}</div> 参加法人等 |
|---|--|

１．理念

- （１）釜石保健医療圏は高齢化・人口減少が全国に先駆けて進行。
- （２）急性期医療を担っている県立釜石病院の後方支援的地域医療として、地域にある複数の慢性期医療関係機関などを最大限活用し、機能分担と連携で効率的・継続的な医療提供体制を構築する。
- （３）慢性期医療・回復期医療・在宅医療・介護とつながる地域包括ケア体制の構築を目指す。

２．運営方針

- （１）地域の医療ニーズを把握しながら、医療機関間で機能分担・情報共有業務連携の推進を図る。
- （２）在宅医療・介護と切れ目なく連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を整える。

３．主な取組・事業計画（医療連携推進方針（案））

- （１）医師の相互支援
 - ・ 志のある医師の確保
 - ・ 医療機関相互の診療援助による機能向上と医師の待遇改善

(2) 具体的な交流の仕組み

- ・Uターン医師、セカンドキャリア医師の受け入れ、在宅医療志向の医師の誘引などを支援

(3) 医療機能の分担と連携

- ・患者紹介・逆紹介を進め、患者の状態に応じた適切な医療を確保。
- ・クリティカルパス検討、入退院調整機能の構築を推進。

(4) 医療従事者の育成

- ・研修会・市民公開講座の共同開催、人材確保活動の共同強化。

(5) 医療機器などの共同利用

- ・高額機器の重複投資を抑制し、共同利用を推進。
- ・画像・診療データの共有も検討。

(6) 医療材料、医薬品等の共同購入

- ・スケールメリットを生かし経営効率化を図る。

(7) 病床活用と診療所連携

- ・病床の融通や開放型病床事業を推進。

(8) 在宅医療の充実

- ・訪問看護、地域包括支援センター等と連携し、在宅医療・介護の充実を図る。

4. 介護・地域包括ケア

- ・病院と介護施設の連携で円滑な在宅復帰を支援。
- ・介護事業所間の連携強化で在宅復帰率向上を図る。
- ・在宅継続が困難な場合、入院受け入れを調整し、改善後は再び在宅へ戻る体制を整える。

5. 釜石地域における医療連携の未来

- ・釜石のような県庁所在地から離れた地域で多彩な病院がある地域は全国的にも貴重な地域。
- ・これらの診療機能の特長を活かしながら連携すれば、沿岸地域のみならず、岩手県全体の医療の質を向上させる可能性がある。

6. 〔資料〕釜石スクラムメディカルネットは釜石医療圏を救えるか